

HEART

株主のみなさまへ

第32期中間事業報告書(平成15年4月1日~平成15年9月30日)



NEXT

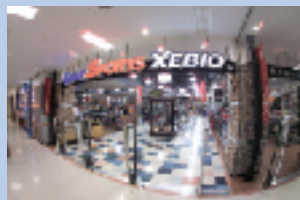


XEBIO
ゼビオ株式会社
XEBIO CO.,LTD.

HEART

C O N T E N T S

株主の皆様へ 業態別店舗数推移	①
中間連結財務諸表(要約)	⑤
個別中間財務諸表(要約)	⑥
XEBIO NEWS	⑦
株式の状況	⑧
会社の概要・店舗分布状況	⑨
店舗一覧	⑩



表紙／スーパースポーツゼビオ藤錦町店

【株主の皆様へ】

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご指導を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。当社第32期中間期(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)の営業の概況についてご報告申し上げます。



ゼビオ株式会社 代表取締役社長 諸橋 友良 Tomoyoshi Morohashi

❖当中間期の概況

(単位:百万円)

連 結	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
平成15年9月期実績	43,479	3,566	1,863
前 年 同 期 比	103.7%	132.2%	133.7%

個 別	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
平成15年9月期実績	43,240	3,550	1,854
前 年 同 期 比	103.7%	133.0%	134.6%

当中間期におけるわが国経済は、各企業における不良資産の償却が進み、企業収益構造の改善が見え、民間設備投資を始めとする各景況指標にも改善傾向がうかがえたものの、個人消費の回復には至らず、依然底這い状態が続く厳しい環境の下で推移いたしました。

小売業界におきましては、お客様が可処分所得内での有効的消費を求め低価格志向が続くなかにおいて、高付加価値商品がヒットアイテムとなるなど、お客様のご要望に応えられる企業のみが勝ち残れる、依然として厳しい経営環境にありました。さらに、総報酬制度導入による社会保険料の変更や、東日本を中心とする長梅雨、冷夏、自然災害などの影響により、お客様の購買意欲は低調に推移いたしました。

このような状況にありまして、当社は長期経営計画の中間年度にあたる今期を経営基盤整備の年度と位置付け、基本戦略に基づく諸施策を着実に実施してまいりました。商品投入時期を見直したことや、経年品処分が前期までに一巡したことなどにより値下げロスが低減され、さらに値入率改善や自社開発品が品質面でもお客様に支持されたことなどから当中間期における売上総利益率は35.6%となり、前年同期と比べ1.4%改善いたしました。

また、現場への権限委譲を進め、組織及び業務改革を継続して実施しております。契約社員、パート社員を店長をはじめとする店舗管理職に登用し、「お客様の声」を今まで以上に、

迅速かつ的確に経営に反映させるなど「お客様第一主義」の実現を強化しております。さらに、品揃えに深みを持たせ、より専門的知識を有した販売員を配置するなど、「専門店化政策」を推進したことで競技スポーツを中心とした顧客層の拡大につながっております。

経費面におきましては、全ての項目において費用対効果を重視した効率的支出を推進したことや、組織改革の効果が人件費を中心とした経費効率の改善に結びつきました。この結果、営業利益は37億百万円と前年同期比132.5%となり、経常利益も35億66百万円で前年同期比132.2%の増益となりました。中間純利益でも前年同期比133.7%の増益を達成することができました。

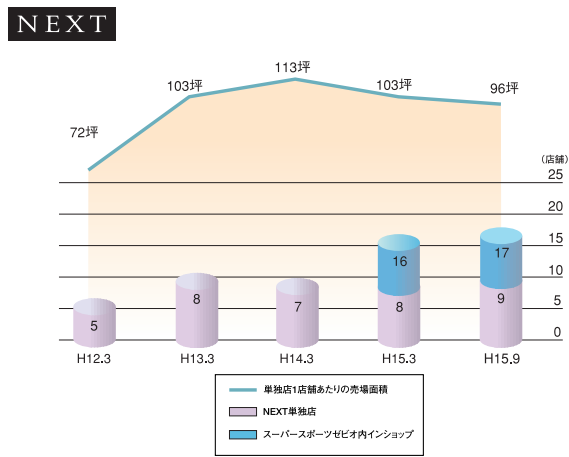
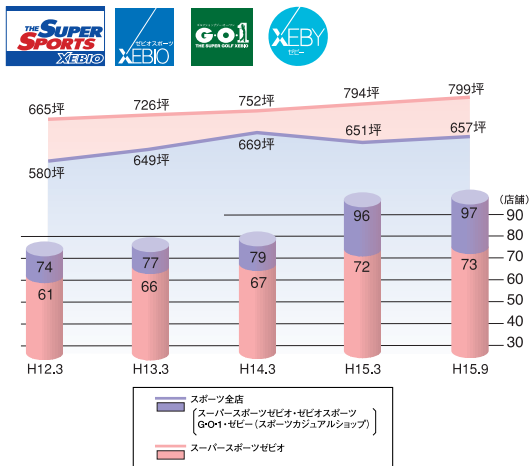
また、店舗の状況につきましては、4月に横浜市都築区にネクスト店舗を、8月に秋田県秋田市にメディア店舗を、9月に福岡県久留米市にスポーツ店舗を出店いたしました。これにより、当中間期末の店舗数は前期末に比べ、3店舗増加して134店舗となり、期末売場面積は前期末に比べて1,410坪増加して70,306坪となりました。

サービス事業部門の連結子会社清稜山株式会社は、研修福利厚生施設を運営しており、業績は安定的に推移いたしました。

皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業態別店舗数推移(個別)

※各業態のグラフは決算期別店舗数と1店舗当たりの売場面積の推移を示しております。尚、メンズ店、メディア店は表記しておりません。



(単位:百万円)

中間連結貸借対照表

	当中間連結 会計期間末 (平成15年9月30日)	前中間連結 会計期間末 (平成14年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成15年3月31日)
資産の部			
流動資産	45,197	42,549	51,389
現金及び預金	24,551	23,255	29,167
受取手形及び売掛金	1,435	1,367	1,690
有価証券	1,499	299	499
たな卸資産	16,306	16,486	18,722
その他	1,404	1,148	1,318
貸倒引当金	△1	△7	△9
固定資産	42,236	42,819	42,970
有形固定資産	19,668	19,904	20,008
建物及び構築物	9,908	10,489	10,271
土地	8,827	8,592	8,824
その他	932	823	912
無形固定資産	526	544	603
投資その他の資産	22,041	22,369	22,358
投資有価証券	1,114	1,053	1,004
差入保証金	9,968	10,171	10,105
敷金	6,395	6,265	6,345
その他	4,843	4,949	4,983
貸倒引当金	△279	△70	△80
資産合計	87,434	85,369	94,359

●中間連結貸借対照表の概要

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ69億25百万円減少し、874億34百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少などにより現金及び預金が46億15百万円減少したことによるものであります。また、たな卸資産も在庫効率が向上したことにより前連結会計年度末に比べ24億16百万円減少いたしました。

固定資産は、有形固定資産、差入保証金などの新店投資はありましたが減価償却や差入保証金の回収などにより7億33百万円減少いたしました。

負債は、前連結会計年度末に比べ仕入債務が大きく減少したことが主な要因で83億88百万円減少いたしました。

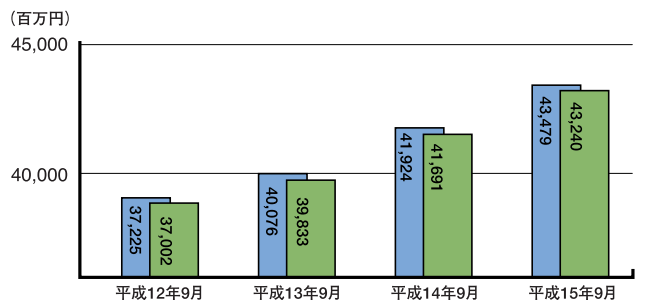
資本は、当中間純利益の増加などにより14億62百万円増加し、652億25百万円となりました。

(単位:百万円)

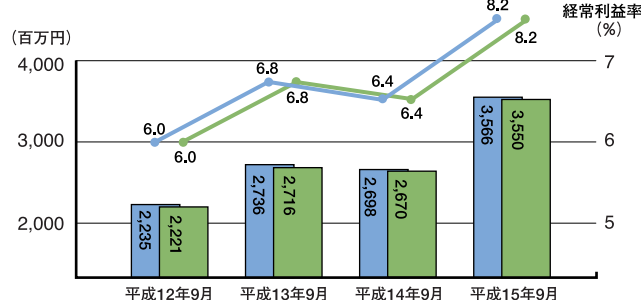
中間連結貸借対照表

	当中間連結 会計期間末 (平成15年9月30日)	前中間連結 会計期間末 (平成14年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成15年3月31日)
負債の部			
流動負債	20,471	20,980	28,743
支払手形、支払信託及び買掛金	16,214	17,771	23,919
一年以上以内返済予定長期借入金	2	19	7
未払法人税等	1,441	1,079	1,679
賞与引当金	458	388	416
ポイントサービス引当金	479	324	443
その他	1,874	1,397	2,276
固定負債	1,738	1,728	1,854
長期借入金	3	6	4
退職給付引当金	676	449	549
役員退職慰労引当金	41	152	247
事業整理損失引当金	197	217	199
その他	818	902	853
負債合計	22,209	22,708	30,597
資本の部			
資本金	15,935	15,935	15,935
資本剰余金	15,907	15,907	15,907
利益剰余金	34,476	31,650	33,080
その他有価証券評価差額金	136	76	68
自己株式	△1,230	△910	△1,229
資本合計	65,225	62,660	63,762
負債・資本合計	87,434	85,369	94,359

売上高



経常利益



中間連結財務諸表(要約)

(単位:百万円)

中間連結損益計算書	当中間連結 会計期間	前中間連結 会計期間	前連結会計年度の 要約連結損益計算書
	自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日	自 平成14年4月1日 至 平成14年9月30日	自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日
売上高	43,479	41,924	88,748
売上原価	28,017	27,588	57,986
売上総利益	15,461	14,336	30,761
販売費及び一般管理費	11,760	11,542	24,394
営業利益	3,701	2,793	6,367
営業外収益			
受取利息	43	35	78
受取配当金	5	3	4
不動産賃貸収入	562	573	1,143
その他	68	46	92
営業外費用			
支払利息	0	0	0
為替差損	238	123	105
不動産賃貸費用	547	593	1,159
その他	29	37	51
経常利益	3,566	2,698	6,368
特別利益			
貸倒引当金戻入益	8	—	—
投資有価証券売却益	2	—	—
預り保証金解約益	3	8	10
保険金収入	202	—	—
特別損失			
貸倒引当金繰入額	175	—	—
固定資産除却損	—	0	225
固定資産売却損	—	40	40
投資有価証券評価損	0	129	163
敷金・保証金解約損	—	34	34
退職給付引当金繰入額	41	41	82
役員退職慰労金	256	—	—
災害損失	27	—	—
その他	—	—	36
税金等調整前中間(当期)純利益	3,283	2,459	5,795
法人税、住民税及び事業税	1,433	1,058	2,768
法人税等調整額	△13	6	△256
中間(当期)純利益	1,863	1,393	3,283

(単位:百万円)

中間連結剰余金計算書	当中間連結 会計期間	前中間連結 会計期間	前連結会計年度
	自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日	自 平成14年4月1日 至 平成14年9月30日	自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日
資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高			
資本準備金期首残高	15,907	15,907	15,907
資本剰余金中間期末(期末)残高	15,907	15,907	15,907
利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高	33,080		
連結剰余金期首残高		30,730	30,730
利益剰余金増加高			
中間(当期)純利益	1,863	1,393	3,283
利益剰余金減少高			
配当金	458	460	920
役員賞与	8	14	14
利益剰余金中間期末(期末)残高	34,476	31,650	33,080

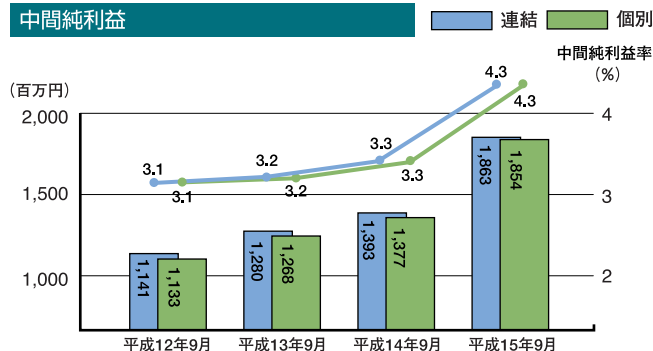
●中間連結損益計算書の概要

売上高では昨年開催されましたサッカーワールドカップの反動減による影響が一部の部門において見られましたが、競技人口の底辺拡大に対応した、トレーニングウェア、競技スポーツ用品・用具等の充実が功を奏し、スポーツ既存店の売上高は前年同期比100.6%となり、全体では前年同期比103.7%と好調に推移いたしました。

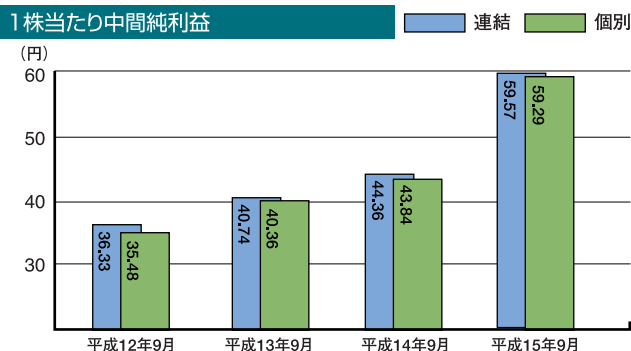
売上総利益率は商品投入時期を見直したことや、経年品処分が前期までに一巡したことなどにより値下げロスが低減され、さらに値入率改善や自社開発品が品質面でもお客様に支持されたことなどから当中間期における売上総利益率は35.6%となり、前年同期と比べ1.4%改善いたしました。

販売費及び一般管理費は、広告宣伝費などの支出の節減に努めたため売上比で27.1%となりました。この結果、営業利益は37億百万円と前年同期比132.5%となり、経常利益も35億66百万円と前年同期比132.2%の増益となりました。中間純利益でも前年同期比133.7%の増益を達成することができました。

中間純利益



1株当たり中間純利益



中間連結財務諸表(要約)

(単位:百万円)

中間連結 キャッシュ・フロー計算書	当中間連結 会計期間	前中間連結 会計期間	前連結会計年度の要約連結 キャッシュ・フロー計算書
	自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日	自 平成14年4月1日 至 平成14年9月30日	自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー			
税金等調整前中間(当期)純利益	3,283	2,459	5,795
減価償却費	776	790	1,638
ポイントサービス引当金の増加額	36	115	234
退職給付引当金の増加額	127	103	203
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	△206	△41	53
受取利息及び受取配当金	△49	△39	△82
支払利息	0	0	0
為替差損	264	171	212
敷金・保証金解約損	—	34	34
固定資産除売却損	—	41	266
投資有価証券評価損	0	129	163
売上債権の増減額(増加:△)	254	282	△39
たな卸資産の増減額(増加:△)	2,416	252	△1,983
仕入債務の増減額(減少:△)	△7,368	△4,103	1,719
未払消費税等の増減額(減少:△)	△33	△147	5
その他	△408	△639	18
小計	△906	△589	8,240
利息及び配当金の受取額	14	11	19
利息の支払額	△0	△0	△0
法人税等の支払額	△1,671	△1,202	△2,312
営業活動による キャッシュ・フロー	△2,563	△1,780	5,946

●中間連結キャッシュ・フロー計算書の概要

営業活動によるキャッシュ・フローは、前中間連結会計期間に比べ7億83百万円減少し、25億63百万円の支出となりました。この要因としてスポーツ用品・用具全体の売上が堅調に推移し税金等調整前中間純利益が32億83百万円と増加いたしました。支出では、一部冬物等の仕入債務である支払手形、支払信託などの決済による減少が季節要因として大きいため、この決済による減少が73億68百万円となったためであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前中間連結会計期間に比べ24億67百万円支出が増加し、35億77百万円の支出となりました。これは、定期預金

(単位:百万円)

中間連結 キャッシュ・フロー計算書	当中間連結 会計期間	前中間連結 会計期間	前連結会計年度の要約連結 キャッシュ・フロー計算書
	自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日	自 平成14年4月1日 至 平成14年9月30日	自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日
投資活動による キャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△2,000	△500	△500
定期預金の払戻による収入	—	500	1,000
有価証券の売買等による支出(純額)	△999	—	△199
有形固定資産の取得による支出	△581	△451	△974
無形固定資産の取得による支出	△27	△121	△269
敷金・保証金の差入による支出	△344	△862	△1,408
敷金・保証金の返還による収入	393	438	867
敷金・保証金の解約による支出	—	△84	△84
その他	△17	△28	△58
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,577	△1,109	△1,628
財務活動による キャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	△6	△13	△26
自己株式の取得による支出	△1	△1	△321
配当金の支払額	△458	△460	△921
財務活動による キャッシュ・フロー	△466	△475	△1,269
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△7	△12	△15
現金及び現金同等物の 増減額(減少:△)	△6,615	△3,378	3,033
現金及び現金同等物の 期首残高	29,167	26,134	26,134
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	22,551	22,755	29,167

の預入20億円とスーパースポーツゼビオ等の新規出店に対する設備投資を中心に有形固定資産の取得5億81百万円、敷金・保証金の差入3億44百万円の支出などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い4億58百万円などで4億66百万円の支出となりました。

以上により当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前中間連結会計期間末に比べ2億3百万円減少し、22億51百万円となりました。

個別中間財務諸表(要約)

(単位:百万円)

中間貸借対照表

	当中間 会計期間末 (平成15年9月30日)	前中間 会計期間末 (平成14年9月30日)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成15年3月31日)
資産の部			
流動資産	45,190	42,544	51,364
現金及び預金	24,518	23,225	29,118
売掛金	1,431	1,361	1,685
有価証券	1,499	299	499
たな卸資産	16,303	16,484	18,719
その他	1,437	1,180	1,349
貸倒引当金	△ 0	△ 7	△ 9
固定資産	42,455	43,023	43,167
有形固定資産	19,155	19,377	19,487
建物	9,155	9,709	9,488
土地	8,530	8,295	8,527
その他	1,468	1,372	1,471
無形固定資産	524	542	601
投資その他の資産	22,775	23,103	23,078
投資有価証券	1,112	1,052	1,003
長期貸付金	1,651	1,672	1,652
差入保証金	9,968	10,171	10,105
敷金	6,395	6,265	6,345
その他	3,927	4,021	4,061
貸倒引当金	△280	△78	△88
資産合計	87,645	85,568	94,531

(単位:百万円)

中間損益計算書

	当中間 会計期間 平成15年4月1日 至平成15年9月30日	前中間 会計期間 自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	前事業年度の 要約損益計算書 自平成14年4月1日 至平成15年3月31日
売上高	43,240	41,691	88,218
売上原価	27,955	27,530	57,850
売上総利益	15,285	14,161	30,368
販売費及び一般管理費	11,620	11,405	24,107
営業利益	3,664	2,756	6,260
営業外収益	707	684	1,366
営業外費用	821	770	1,347
経常利益	3,550	2,670	6,280
特別利益	217	8	10
特別損失	500	246	582
税引前中間(当期)純利益	3,266	2,431	5,708
法人税、住民税及び事業税	1,424	1,050	2,733
法人税等調整額	△12	4	△255
中間(当期)純利益	1,854	1,377	3,230
前期繰越利益	598	595	595
中間配当額	—	—	460
中間(当期)未処分利益	2,452	1,972	3,365

(単位:百万円)

中間貸借対照表

	当中間 会計期間末 (平成15年9月30日)	前中間 会計期間末 (平成14年9月30日)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成15年3月31日)
負債の部			
流動負債	20,426	20,921	28,680
支払手形	1,849	1,814	2,101
支払信託	10,039	11,074	16,443
買掛金	4,315	4,874	5,363
未払法人税等	1,432	1,070	1,661
賞与引当金	453	383	411
ポイントサービス引当金	479	324	443
その他	1,856	1,380	2,255
固定負債	1,564	1,512	1,651
退職給付引当金	675	448	547
役員退職慰労引当金	41	152	247
事業整理損失引当金	197	217	199
預り保証金	650	694	657
負債合計	21,991	22,433	30,331
資本の部			
資本金	15,935	15,935	15,935
資本剰余金	15,907	15,907	15,907
利益剰余金	34,905	32,125	33,518
その他有価証券評価差額金	136	76	68
自己株式	△ 1,230	△ 910	△ 1,229
資本合計	65,654	63,135	64,200
負債・資本合計	87,645	85,568	94,531

●埼玉県に『スーパースポーツゼビオ』初出店

S H O P

平成15年11月7日、埼玉県蕨市錦町にスーパースポーツゼビオ蕨錦町店（イーヨーカード錦町店2階）をオープンしました。関東地区は出店の優先地区と捉えており、今回の出店はその一環を担う埼玉1号店となります。

店舗づくりにつきましては、有名スポーツ選手の使用したグッズ・ウェアを展示するなど、従来からのアウトドアテイストの演出に加え、アスリートスポーツフィールドイメージを付加したエンターテインメント性の高い売場となっております。

売場構成につきましても、各競技アイテムに特化したカテゴリーコーナーやゴルフ試打室を設置、さらに新たな試みとして、近年の健康意識の高まりから「ボディマネジメント」コーナーを設けました。

今後もオリジナリティのある店舗づくりで他社との差別化を鮮明にしお客様の多様なニーズに応えられるよう積極的に取り組んでまいります。

【住 所】埼玉県蕨市錦町一丁目12番1号

【T E L】048-447-8123

【アクセス】JR京浜東北線「蕨駅」西口より無料シャトルバスが運行しております。



●スーパースポーツゼビオ蕨錦町店

●関西に『NEXT』初出店

S H O P

平成15年10月7日、大阪市浪速区難波の「なんばパークス」に関西地区初となるNEXT単独店がオープンしました。

前期は店舗数拡大と出店スピード拡大を図るためにチルドレンズ専門店の展開を行っていましたが、関西初出店であることからウィメンズ、メンズ、チルドレンズのフルラインナップで構成しNEXTのファッション性を存分に体感できる店舗づくりとなっております。

今後は首都圏でのドミナント強化を進めるとともに、関西圏につきましても戦略エリアとして展開をしてまいります。

【住 所】大阪市浪速区難波中二丁目10番70号

【T E L】06-4397-8333

【アクセス】南海鉄道「なんば駅」中央口・南口に直結しております。



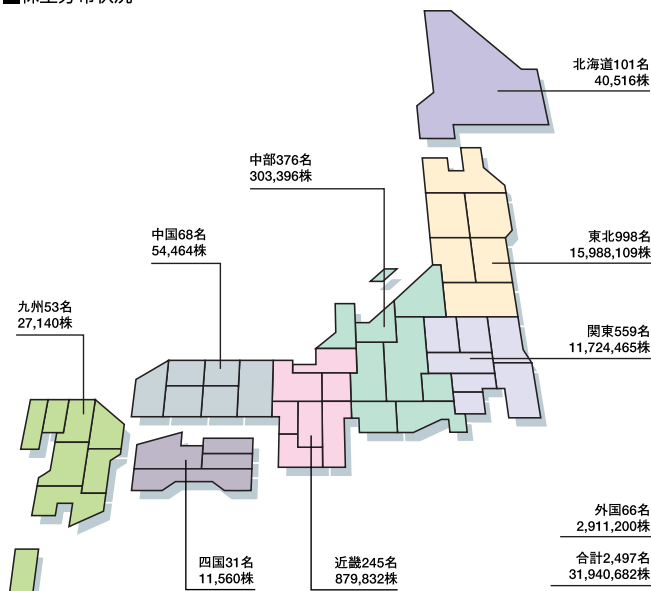
●NEXTなんばパークス店

なんばパークス

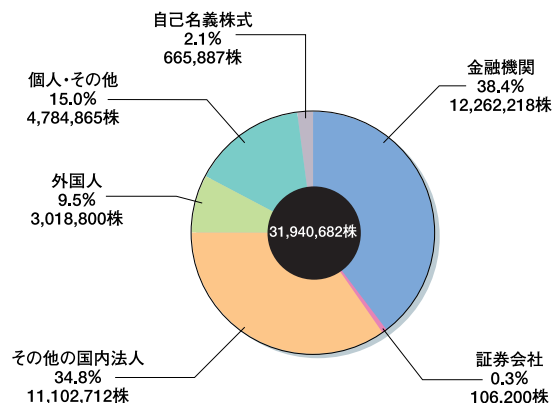
明治時代から脈々としてきた「なんば」の進取の気性、バイタリティを受け継ぎ、人が集まり、語り合い、楽しんでいただくことができるよう大阪球跡跡地37,179m²の敷地に、商業、ビジネス、アミューズメントなど様々な都市機能が複合した街。平成15年10月オープン。

株式の状況 (平成15年9月30日現在)

■株主分布状況



- 発行する株式の総数 90,000,000株
- 発行済株式総数 31,940,682株
- 株主総数 2,497名
- 単元株主数 2,292名
- 所有者別株式分布状況



■大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
有限会社 サンビック	5,501,737	17.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,813,500	15.40
財団法人 諸橋近代美術館	3,000,000	9.60
有限会社 ティー・ティー・シー	2,157,644	6.90
諸橋廷蔵	1,913,322	6.12
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託A口)	1,526,600	4.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,245,200	3.98
諸橋輝子	828,243	2.65
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	720,600	2.30
住友信託銀行株式会社(信託B口)	692,600	2.21

(注1) 上記信託銀行の持株数には信託業務に係るものが含まれております。
 (注2) 上記大株主の諸橋廷蔵氏は、平成15年2月24日に逝去いたしました。諸橋廷蔵氏名義の株式は、平成15年9月30日現在名義書換未了であります。

■株主メモ

- 決算期 毎年3月31日
- 株主確定基準日 (1) 定時株主総会・利益配当金 3月31日
(2) 中間配当金 9月30日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定める。
- 定時株主総会 6月
- 決算公告 下記ホームページアドレスにて掲載しております。
<http://www.xebio.co.jp/>
- 株式名義書換 名義書換代理人 東京都千代田区丸の内1丁目5番1号(新丸ビル) 東京証券代行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内1丁目5番1号(新丸ビル) 東京証券代行株式会社 TEL03-3212-4611
- 同取次所 東京証券代行株式会社各営業所、取次所
- 単元未満株式の買取請求取扱場所 上記名義書換代理人の事務取扱場所及び事務取次所でお取り扱いいたしております。

■株主様ご優待

「株主特別御優待券」は、お買物額の10%を割引させていただく優待券です。年に2回、100株以上保有株主様には5枚、1,000株以上保有株主様には10枚を贈呈いたしております。是非、お近くの店舗でご利用ください。

会社の概要・店舗分布状況 (平成15年9月30日現在)

商号 ゼビオ株式会社
(XEBIO CO.,LTD.)
本社所在地 〒963-8024 福島県郡山市朝日三丁目7番35号
電話024-938-1111 (代表)
ホームページアドレス <http://www.xebio.co.jp/>
創業 昭和37年8月
会社設立 昭和48年7月5日
事業内容 スポーツ用品・用具、紳士、婦人、子供服の販売
従業員数 623名
従業員数には、パートタイマー及びアルバイト2,620名(1日実働8時間換算)は含んでおりません。

店舗 134店舗

北海道16店舗	茨城県5店舗	石川県2店舗	兵庫県1店舗
青森県2店舗	栃木県5店舗	福井県1店舗	広島県2店舗
岩手県10店舗	千葉県4店舗	長野県7店舗	香川県1店舗
宮城県10店舗	東京都5店舗	静岡県1店舗	福岡県5店舗
秋田県5店舗	神奈川県2店舗	愛知県5店舗	熊本県1店舗
山形県7店舗	新潟県9店舗	京都府1店舗	宮崎県1店舗
福島県20店舗	富山県4店舗	大阪府2店舗	



スーパースポーツゼビオ 73店舗



ゼビオスポーツ 5店舗



G・O・1 9店舗



ゼビー 10店舗



ネクスト 9店舗



ゼビオメンズ 11店舗



メディア 17店舗

取締役及び監査役 (平成15年12月1日現在)

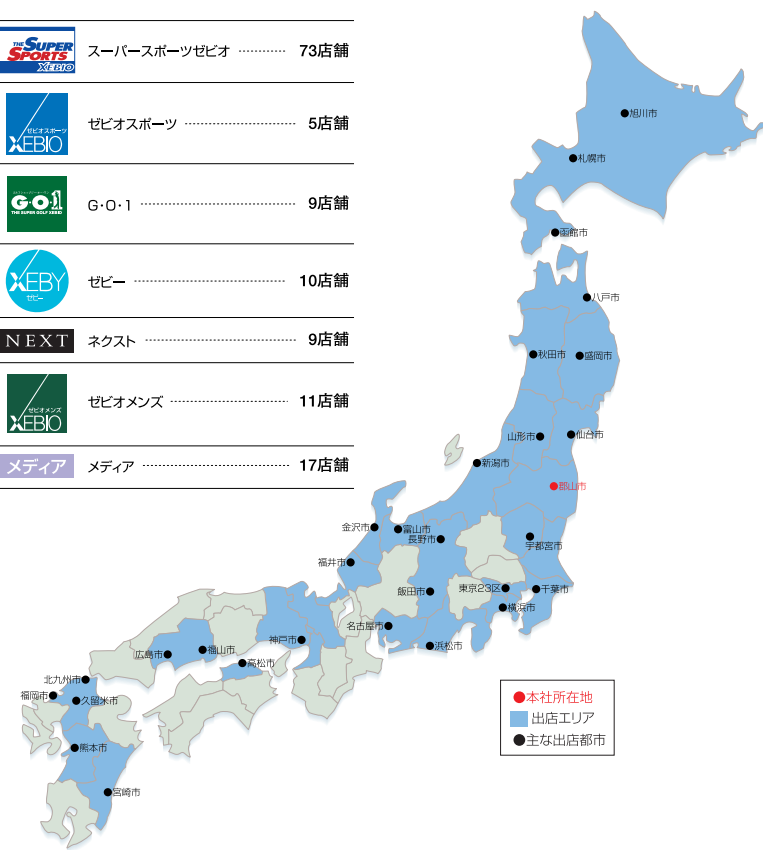
役職	氏名
代表取締役社長	諸橋友良
代表取締役専務	石井道夫
取締役	大和田美明
取締役	加藤則宏
取締役	大滝秀雄
取締役	阿部正
常勤監査役	三瓶幸徳
常勤監査役	荒川二三男
監査役	小谷野幹雄
監査役	佐々木英男

(注) 監査役三瓶幸徳、小谷野幹雄、佐々木英男の3氏は「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

執行役員 (平成15年12月1日現在)

担当	氏名
事業推進部門メディアグループリーダー	蛭田正雄
事業推進部門ファッショングループリーダー	鈴木修一
業務推進部門長兼情報戦略室長	大島康夫
営業支援部門長兼営業企画グループリーダー	伊藤禎伸
商品部門商品4グループリーダー	木原正剛
店舗開発部門長	尾形慶之
商品部門長兼商品1グループリーダー	大山雄彦
店舗運営部門長	石塚晃一
人事・総務部門長	幕田孝一

(注) 当社では、意思決定・監督と業務執行の分離による取締役会の一層の活性化のため、また、担当業務の数値責任をより明確にするために執行役員制度を導入しております。



●本社所在地
■出店エリア
●主な出店都市



スーパースポーツゼビオ

吉小牧店	北海道苫小牧市新富町二丁目2番3号
岩見沢店	北海道岩見沢市九条西十七丁目2番地5
北見店	北海道北見市三輪12番地2
釧路店	北海道釧路郡釧路町木場一丁目3番地4
新発寒店	札幌市手稲区新発寒四条一丁目1番85号
帯広いっさきゅう店	北海道帯広市西十九条南二丁目30番5号
札幌厚別店	札幌市厚別区中央三条三丁目1番37号
ゼビオホーム札幌厚別店	札幌市豊平区中央三条三丁目1番10号
旭川永山店	北海道旭川市永山三条三丁目2番4号
道新昭和タウンプラザ店	北海道函館市昭和一丁目29番1号
弘前店	青森県弘前市大字高田五丁目1番地の1
ピアドゥ八戸店	青森県八戸市沼館四丁目7番113号
盛岡仙北ハイパス店	盛岡市仙北町名見町15番地27号
水沢店	岩手県水沢市佐倉河学慶87番地
仙台泉中央店	仙台市泉区泉中央四丁目24番地の3
仙台太白区長町店	仙台市太白区長町七丁目20番3号
南万店	宮城県登米市南万町濶ノ木127番地ノ1
ロックタウン古川店	宮城県古川市北町字崎浦15番
秋田茨島店	秋田県秋田市茨島一丁目1番23号
大曲店	秋田県大曲市戸崎字鶴111番地1
米沢店	山形県米沢市金池六丁目6番3号
鶴岡店	山形県鶴岡市大字字下広野1
山形吉原店	山形県山形市若宮65
会津若松町北店	福島県会津若松市町北町大字上荒久田字下158番地
福島南ハイパス店	福島県福島市黒岩字浅井18番地

原町店	福島県原町市大字北原字境掘76番地の1
メガステーション白河店	福島県白河市字新高山8番地
郡山西ノ内店	福島県郡山市西ノ内二丁目11番35号
ダイエーいわき店	福島県いわき市鹿島町米田字日渡5番地
つくば園東大通り店	茨城県土浦市御二丁目12番6号
足利店	栃木県足利市堀込町2485番地2
宇都宮細倉店	栃木県宇都宮市細倉町694番地1
宇都宮吉井店	栃木県宇都宮市福丸二丁目22番1号
小山店	栃木県小山市駅南町二丁目30番2号
●藤錦町店	埼玉県藤市錦町一丁目12番1号
がわ沼南WOOWCITY店	千葉県東葛飾郡沼南町風早一丁目3番13号
千葉美浜ニューポート店	千葉県美浜区新港32番地6-3
フルルガーデン八千代店	千葉県八千代市村上3788番地1
葛西店	東京都江戸川区東葛西九丁目3番3号
新潟桜木インター店	新潟県新潟市女池東一丁目6番5号
上越店	新潟県上越市下源入字四反田223番地の1
長岡店	新潟県長岡市古正寺町180番地
新発田店	新潟県新発田市新栄町三丁目3番2号
新潟亀田店	新潟県中蒲原郡亀田町四五苗四丁目3番3号
高岡店	富山県高岡市宮田町45番
富山蛭川店	富山県富山市蛭川183番地
アピタ富山東店	富山県富山市上層居310番地1
金沢元町店	石川県金沢市元町二丁目6番6号
フェアモール松任店	石川県松任市幸明町150番地
フェアモール福井大和田店	福井県福井市大和田町第38号4番地

松本平田店	長野県松本市平田東三丁目1番4号
諏訪店	長野県諏訪市沖田三丁目7番
佐久店	長野県佐久市大字猿久保守屋前7番地1
松本高宮店	長野県松本市高宮東6番5号
飯田鼎店	長野県飯田市鼎名古照651番地
長野高宮店	長野県長野市大字高田1841番地の1
浜松宮竹店	静岡県浜松市西町1020番地の1
豊田東新店	愛知県豊田市東新町六丁目21番地1
豊橋向山店	愛知県豊橋市つづし丘一丁目11番地の3
岡崎インター店	愛知県岡崎市河町字的場10番地1
ザ・モール安城店	愛知県安城市大東町9番31号
名古屋みなと店	名古屋港区砂美町1番地の5
ベルファツ治店	京都府宇治市横島町清水48番地
東大阪菱江店	大阪府大阪市菱江339番地1
大坂守口店	大阪府守口市佐太東町二丁目9番10号
神戸ジェムス山店	神戸市垂水区青山台七丁目6番1号
広島八木店	広島市安佐南区八木二丁目16番10号
福山店	広島県福山市入船町三丁目1番25号
ゆめタウン高松店	香川県高松市上天神町字高田362番1
ゆめタウン博多店	福岡市東区東浜一丁目1番1号
春日店	福岡県春日市春日五丁目51番地
●ゆめタウン留米店	福岡県久留米市台川北土地地区西整理事業区内1街区
熊本本店	熊本県熊本本市山田町143番地4
宮崎店	宮崎県宮崎市中村西三丁目4番14号

店舗一覧 (平成15年12月1日現在)



ゼビオスポーツ

ゼビオ盛岡ハイパス店	岩手県盛岡市東仙北町二丁目10番30号
一関店	岩手県一関市赤数字堺10番地
盛岡青山店	岩手県盛岡市青山四丁目46番25号
G・O・1仙台泉店	仙台市泉区市名坂黒木川原28番地の2
横手店	秋田県横手市安田字越廻54番地の1
G・O・1白河店	福島県白河市字立石62番地
G・O・1福島西店	福島県福島市南沢又字中琵琶淵14番地
G・O・1郡山並木店	福島県郡山市並木三丁目2番地の1
ひたちなか店	茨城県ひたちなか市毛941番地5
G・O・1茨城鹿嶋店	茨城県鹿嶋市大字宮中347番地
ゼビオ桜木インター店	新潟県新潟市神道寺二丁目6番19号
柏崎店	新潟県柏崎市穂波町9番8号
燕三条店	新潟県三条市須郷一丁目44番
G・O・1小倉曾根店	北九州市小倉南区原町新三丁目6番3号

NEXT

ザ・モール仙台長町店	仙台市太白区長町七丁目20番3号
仙台一番町店	仙台市青葉区一番町三丁目8番15号
らぼーと店	千葉県船橋市浜町二丁目1番1号
調布パルコ店	東京都調布市小島町一丁目38番地1
自由が丘店	東京都目黒区自由が丘二丁目10番地16号
アークシティお台場店	東京都港区台場一丁目7番1号
OUTLET	東京都町田市鶴間三丁目85番地1
クワンパル・メル新田店	横浜市中区桜木町一丁目1番地67号
横浜桜木町店	横浜市都筑区中川中央一丁目31番1号
●モザイクモール港北店	大阪市浪速区難波中二丁目10番70号
●なんばパークス店	

※スーパースポーツゼビオ内インショップ	
郡山西ノ内店	福島県郡山市西ノ内二丁目11番35号
がわ沼南WOOWCITY店	千葉県東葛飾郡沼南町風早一丁目3番13号
フルルガーデン八千代店	千葉県八千代市村上3788番地1
葛西店	東京都江戸川区東葛西九丁目3番3号
浜松宮竹店	静岡県浜松市西町1020番地の1
福山店	広島県福山市入船町三丁目1番25号
ゆめタウン高松店	香川県高松市上天神町字高田362番地1
ゆめタウン博多店	福岡市東区東浜一丁目1番1号

ネクスト

仙台市太白区長町七丁目20番3号
仙台市青葉区一番町三丁目8番15号
千葉県船橋市浜町二丁目1番1号
東京都調布市小島町一丁目38番地1
東京都目黒区自由が丘二丁目10番地16号
東京都港区台場一丁目7番1号
東京都町田市鶴間三丁目85番地1
横浜市中区桜木町一丁目1番地67号
横浜市都筑区中川中央一丁目31番1号
大阪市浪速区難波中二丁目10番70号
福島県郡山市西ノ内二丁目11番35号
千葉県東葛飾郡沼南町風早一丁目3番13号
千葉県八千代市村上3788番地1
東京都江戸川区東葛西九丁目3番3号
静岡県浜松市西町1020番地の1
広島県福山市入船町三丁目1番25号
香川県高松市上天神町字高田362番地1
福岡市東区東浜一丁目1番1号

メディア

ブックバーゲント北上店	岩手県北上市有田町1番45号
キャバ水沢店	岩手県水沢市佐倉河字五反町56番地の1
メガトン古川店	宮城県古川市幸町一丁目4番11号
RAKURAKU24	仙台市若林区南小泉二丁目11番2号
仙台南小泉店	秋田県大館市清水一丁目3番13号
●RAKURAKU24	秋田県秋田市川尻大川町12番38号
秋田店	山形県米沢市金池五丁目6番122号
キャバ米沢店	山形県天童市若老野二丁目9番12号
キャバ天童店	山形県山形市松町四丁目1番28号
キャバ山形松町店	福島県白河市新白河一丁目100番地
ブックマト白河店	福島県郡山市鳴神一丁目4番
ブックバーゲント	福島県会津若松市天神町21番11号
郡山新さくら通り店	
ブックバーゲント	福島県いわき市東田町一丁目28番地の2
会津若松店	茨城県下館市ズツ1101番地
ブックマト下館店	
ブックバーゲント	茨城県土浦市真鍋五丁目16番21号
土浦真鍋店	栃木県大田原市紫塚二丁目2586番地
ブックマト大田原店	富山県富山市今泉388番地の1
キャバ富山掛尾店	

(注) ●は第32期の出店であります。



〈スポーツカジュアルショップ〉

ゼビー

エクステンション滝川店	北海道滝川市東町一丁目4番29号
アクティブゼビオ花巻店	岩手県花巻市小舟渡51番地
二戸店	岩手県二戸市堀野字馬場70番地1
カカロ大河原フルナ店	宮城県柴田郡大河原町字小島2番地の1
ロックタウン酒田店	山形県酒田市大字酒井新田字1番割1番地7
福島船引店	福島県田村郡船引町大字春山字ノ上17番地
相馬店	福島県相馬市塚ノ町一丁目14番地の5
五泉店	新潟県五泉市水島町12番32号
カラカロ上田店	長野県上田市常入一丁目11番56号
カラカロ福岡延浜店	福岡市西区内浜一丁目7番13号



ゼビオメンズ

札幌東本町店	札幌市東区本町二条四丁目8番7号
旭川四条店	北海道旭川市四条西二丁目2番3号
旭川永山パワース店	北海道旭川市永山十一条四丁目119番地の51
札幌清田店	札幌市清田区清田二条一丁目3番5号
道新昭和タウンプラザ店	北海道函館市昭和一丁目29番1号
盛岡上堂店	岩手県盛岡市上堂一丁目19番67号
会津若松店	福島県会津若松市町北町大字上荒久田字下137番地の1
福島南ハイパス店	福島県福島市黒岩字中島2番地の1
郡山朝日店	福島県郡山市朝日三丁目7番35号
福島本内店	福島県福島市本内字北町裏6番地
いわき谷川瀬店	福島県いわき市平谷川瀬字泉町84番地

屋敷地海温泉 清稜山俱樂部



清稜山株式会社 (連結子会社) <http://www.seiryozan.jp/>
福島県郡山市熱海町熱海五丁目18番地 TEL.024-984-2811

社内研修施設として、平成3年4月に開設。その他地域の宿泊研修施設として、一般に開放しております。充実した施設に加え、周辺ゴルフ場・スキー場、レジャーゾーンへのアクセスの良さと、充実した環境もあり、多くの皆様にご利用いただいております。



ゼビオ株式会社 本社 (福島県郡山市)



XEBIO社名の由来

社名XEBIOには2つの意味が託されています。

① 社会的使命として XEBIO: XECHORISTOS + BIOS

(個性的な) (生活)

ファッション、スポーツだけでなく当社がめざす「お客様のライフスタイルをトータルにクリエイトする」というコンセプトを社名に託したものです。

② 全社員のポリシーとして eXpanding & Energetic BIOs

(拡大する) (活動的な) (生命)

意欲的に未来に取り組む姿勢を表したものです。